

まちの話題

●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつま
電話 32-3812



血糖測定前に説明をうける来場者ら

市民一人ひとりが健康で心健やかに生活できる明るいまちづくりを目的として11月29日、『第29回小松島市健康づくりのつどい』（小松島市健康づくり推進協議会、小松島市主催）が市保健センター・ミリカホールで開催されました。

『高血糖ほついたらあかんでよ』をテーマに、血糖測定や血管年齢を測るコーナーや塩分控えめの健康食を食すコーナーのほか、親子リズム体操、阿波踊り体操、アニメの映画上映会、

11/29

小松島市健康づくりのつどい 高血糖をテーマに 大勢の家族連れらでにぎわう



親子リズム体操で健康づくり

オリジナルコマづくり、てるてるアトバルーンなどの催しが行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。

また、徳島赤十字病院の新谷保実内科部長による『放置厳禁！「高血糖」くまだ予備群・軽症だからと油断していませんか？』や栢下淳子管理栄養士による『やってみよう！高血糖予防の食べ方』と題した講演が行われ、参加した市民らは熱心に耳を傾けていました。



熱心に説明をうける消防団員ら

12/4

消防団第22分団に 可搬ポンプ積載車を配備

地域社会の迅速な消防活動を促進するため12月4日、坂野町の消防団第22分団（福崎昌樹分団長）に市消防本部から最新型の可搬ポンプ積載車が貸与されました。

同分団に可搬ポンプ積載車が貸与されるのは、使用しているポンプ車の老朽化による更新のため22年ぶり。

貸与式の後、分団員に消防署員やポンプメーカーから操作説明があり、分団員はビデオ片手に聞き入っていました。

11/20

泰地保育所幼年消防隊 法被姿で『火の用心』パレード

泰地保育所の園児で組織する幼年消防隊（2〜5歳児57名）が11月20日、園児らと地域住民の防火意識の向上を目的として町内パレードを行い『火の用心』を呼びかけました。

昭和61年から続けられているパレードは、今年で23回目。『火の用心』と書かれたそろいの法被姿の園児らが、拍子木を打ち「マツチ一本、タバコの吸い殻、火の用心」と保育所周辺の約1kmを20分程かけて練り歩きました。



「火の用心」を呼びかけ町内を練り歩く園児ら